

## 地域金融を学ぶ

団体名 ● 「金融論」・「応用金融論」履修学生 / 代表者名 ● 吉田隆 (経済学部教授)

### はじめに

地域金融(信用金庫などによる地域の中小企業・個人との金融取引)は、金融分野の教科書においてごく限定的に扱われるトピックである。しかし、信用金庫などの地域金融機関は、本学経済学部の卒業生の主要な就職先の一つでもあり、地域金融を学ぶことは金融に興味を持つ学生にとって重要と考えられる。そこで、「金融論」および「応用金融論」(いずれも経済学科の2年次配当科目)では、地域金融について、外部講師を招いて学ぶ機会を設けている。

### 活動内容

「金融論」では、石川県信用金庫協会と本学との包括連携協定に基づき、信金中央金庫の調査・研究部門から講師を招き、信用金庫の役割について講義を行って頂いた。信金中央金庫は、信用金庫の「系統中央機関」であり、全国の信用金庫の経営・業務にかかわるサポートおよび信用金庫業界の資金運用を担っている。「金融論」(全15回)は、経済学科における金融分野の基礎をなす科目であり、履修者は第10回までに、貨幣、金利、金融商品、金融システム、および銀行・信用金庫などの金融仲介機関の役割を学ぶ。本講義は第11回にあたり、①信用金庫業界の規模・特色・歴史とわが国の金融システムにおける重要性、②全国各地の信用金庫が大学、官公庁、民間の財団と連携して進めている地域振興の取組みを講師から解説して頂いた。

「応用金融論」では、石川県信用保証協会から講師を招き、地域金融機関の現状と課題、中小企業の実況、石川県のニッチトップ企業(高い技術力を梃に、特定の分野でトップシェアを持つ企業)、および中小企業の資金調達を支え、経営を支援する信用保証協会の役割を解説して頂いた。信用保証協会は47都道府県と4つの都市にあり、中小企業は同協会の信用保証を利用することによって、金融機関からスムーズに融資を受けることができる。「応用金融論」(全15回)では、「金融論」で学んだ内容をベースに、金融政策および金融システム安定化のための政策を学

ぶ。本講義は第15回にあたり、金融システム安定化のための政策に関係が深い。

### 成果、結果の考察

両科目の履修者は、①信用金庫や信用保証協会が地域金融の担い手として重要な役割を果たしていること、②信用金庫や信用保証協会の取引先である中小企業がわが国全体で、大企業を上回る雇用および付加価値を生み出していること、③中小企業数は、開業率の伸び悩みと経営者の高齢化などに伴う廃業の増加のため、減少傾向にあることを学び、加えて、信用金庫および信用保証協会の業務について具体的なイメージを持つことができたと考える。

### 今後の課題、展望

「金融論」および「応用金融論」では今後も、地域金融に関する以上の内容を取り入れていきたいと考える。

以上